

うわ～綺麗！上揚区の「水あかり」



上揚区中央に久玉川があり、無量寺へつながる山道には眼鏡橋が架かっています。このアーチ型の石橋は牛深地域では唯一のもので天草市指定史跡にもなっています。上揚区民はこの石橋を小さい頃から慣れ親しみ大事にしてきました。

この橋のもとには牛深東小学校の結構広い駐車場があります。拾数年前から十五夜には「月見の会」と称して竹灯籠で川の中を飾り この駐車場に舞台を作り その周りにコンテナで客席をつくって区民を招待していました。

それが5年程前の新型コロナウイルス感染防止で中止となっていましたが、昨年（前）山下広光区長の呼びかけで、川と眼鏡橋を利用して水あかりをしました。

そして今年も（現）坂田稔区長の呼びかけで、9月29日～10月5日水あかりをしました。

竹灯籠 ランタン イルミネーションの輝きが川面に映えてその美しさは幻想的で 見に来られた方達から「綺麗ネ！」と多くの言葉をいただきました。

内容は ほぼ昨年同様ですが、イルミネーションの位置を替え、水位も少し深くしたら川面に映える美しさが増したようでした。

また、グラスにろうそくを入れ灯した「結」の文字は 皆が仲良くお互いを尊重し 助け合いのできる上揚区であって欲しいとの願いです。



久振だより

人口2346人
1292世帯
-第198号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和6年11月1日



いつ起こるかわからない災害に備えて！上揚区防災訓練

最近の自然災害は地球温暖化のせいかな 昔と比べると頻繁に発生しているように思います。

そしてその規模も信じられないくらい大きくて、私達の手でそれを防ぐことは難しいかもしれませんが、少しでも被害を小さくするよう備えることは必要だと思います。

9月29日上揚区防災訓練が牛深東小体育館で区民56名が参加して実施されました。

今回は目の前で倒れている人の救助と火災への初期対応を南消防署から講習をしていただきました。

消防署員の講話で「目の前で倒れている人がいたら まず意識確認をしてください 次に周りの人に応援を呼びかけ 救急車の手配 AED の準備をしてもらいます 何より大事なのが心臓マッサージです 1分間に100回程度で胸の中央をやや強く押します。AEDの準備ができたなら心臓マッサージをしながらパットを右肩と左脇下に貼ります(逆でも可)電気ショックが必要と AED が指示したときのみ作動させて下さい」と教えて下さいました。

その後、屋外で消火器の使い方、消火栓を利用した放水訓練を体験させていただきました。

私達の地区では今まで命に係わるような大きな災害が起きた事はありませんが、あらゆる状況を想定した行動を考えておくことが大切だと思います。



第4回くたま市民学級

「いきいき楽しく脳トレ」

日時:11月13日(水)10:00~

講師:生涯学習課 職員

場所:久玉地区コミュニティセンター

暑さに負けないぞ！明照園杯GG大会

9月30日、70名が参加して「第17回 明照園杯グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

開会式で三宅理事長から「明照園杯グラウンドゴルフ大会に多くの皆さんに参加していただきありがとうございます。皆さんの健康づくりに多少なりとも貢献できることを嬉しく思います。これからも体調に注意して楽しんでください」と挨拶がありました。

暑さ寒さも彼岸までと言います 季節は秋に変わったはずなのに、まだまだ真夏のような太陽が照り付け、汗が噴き出てきます、それでも水分補給をしっかりとしながら、皆さん暑さに負けず楽しんでいました。尚、入賞された人は次のとおりです。



成績

1位	上 藤人	36点
2位	小橋 孝子	37点
3位	佐々木マサノ	37点
4位	田中 榮一	37点
5位	川上 清美	39点



久玉郵便局長杯GG大会

10月17日(木)、69名が参加して「第13回郵便局長杯グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

季節は秋とは名ばかりで 陽射しはなくても 夏のむし暑さが残っているようです。

開会式で岩下局長から「今日は多くの皆さんに参加してもらって ありがとうございます 優勝を目指して頑張ってください 10月から市役所の久玉出張所業務の委託を受けています ご利用よろしくお願ひします」と挨拶がありました。

スタート時 雲っていたが、時折陽が照るとジワジワと汗ばんできて暑い。ほとんどが高齢者ばかりだが 年齢には関係ないと言わんばかりにプレーに集中して楽しんでいました。

尚、入賞された人は次のとおりでした。

成績

1位	小川 四郎	28点
2位	竹本 一秀	35点
3位	大塚鐵太郎	38点
4位	尾谷 次男	39点
5位	町田萬里子	40点



☆しろやま文庫☆ 『作って食べよう!お芋のお菓子(芋ンブラン)』

10月6日(日)「芋ンブラン作り」をしました。

参加者は、子ども14名、地域の方12名スタッフ4名総勢30名。

別室でのミニお話会では、お芋のエプロンシアターやお芋の絵本の読みきかせやお芋の手遊びで盛り上がり、そのままの「お芋モード」で「芋ンブラン」作りに突入!

さて、その作り方は至ってシンプル!

プラ容器に①リツクラッカー2枚②お芋のつぶしたもの35グラム③生クリームの順に重ねて入れていき、最後に干し芋 芋チップスをトッピングしたもので、見た感じはとて〜も地味。

しかし容器の中で混ぜ合わせて食べると、リツの塩味が何とも良い仕事をしてくれて、しかも1年に1回しか食べないので、勝手に「伝説のお菓子」なんて呼んでいます。

実食後の感想は「もっと量を食べたかった。」「ちょうど良い甘さ」地域の方からは「ここに参加させてもらい幸せです。」の声が……。スタッフうれしい!

平成12年に地域文庫として発足した「しろやま文庫」も、子ども減少、コロナ禍、会の大きな柱だった坂田文香先生を失うなどの波に対応しながら活動を続けています。

久玉地区振興会が会の活動を理解して下さり、子ども達の楽しみの為に惜しみなく予算をつけて下さる事も活動を続けていける原動力の一つです。心から感謝いたします。

久玉しろやま文庫



次回のお知らせ

《11月の文庫活動はお休みです!》

『作って食べよう!クリスマスケーキ』 12月1日(日) 10:00~11:30



持ってくるもの:エプロン、バンダナ、お茶



※参加の申し込みはいりません!時間までに久玉ふれあいセンターに来てください。